

# 第1回部活動地域移行準備委員会議事録

日 時：令和4年11月29日

場 所：虹のプラザ「中会議室」

出席者：

欠席者：

オブザーバー参加：（村山教育事務所）

事務局	最初に教育長より挨拶申し上げる。
教育長	（あいさつ）
事務局	それでは早速協議に移る。協議の中に意見交換があるが、議事録を録る関係上、マイクを持ってご発言いただくよう御願います。 それでは座長を教育長に御願ひして進めていく。
教育長	本日準備委員会と言うことで開催させていただいたわけだが、南魚沼市の取り組みをモデルとしている。そちらのほうでも教育長が座長となっていたようなので、今回は私が座長を務めさせていただく。 最初に皆さんでイメージを共有するため、事務局よりこれまでの経緯と町内の状況について説明する。
事務局	（（1）これまでの経緯と町内の状況について説明）
教育長	学校の教員の働き方改革という点で、指導する人がいなくなるとか、部員の数が減るとかいろんな課題がある中で、地域の活動に移行していくという結論を出したというかたちになる。みなさんご存じだとは思いますが、これまでの経緯と、これからのイメージについて、確認しておきたい、聞いておきたいことなどあれば、今日は県の方も来ていただいているので、質問をいただいてから始めていきたい。
委員	いきなり資料を渡されて質問意見ををといわれてもなかなか出てこない。このような資料があるなら会議の前に配布していただいて、目を通してから会議に臨まないとなかなか難しい。会の持ち方について検討いただきたい。
教育長	そのとおりであった。今日はみなさんの部活動地域移行に対する考え方を聞きたいと考えていた。そして次回の会議で揉んでいければと考えている。今日は共通理解を得る場と捉えていただければありがたい。

	では県の方より、みなさんにお伝えできることなどあれば。
オブザーバー	先ほど担当と教育長からあったとおり、部活動改革については、先生方の働き方改革というところが前に出ているかと思うが、県の概要にあるとおり、これから育っていく生徒たちにとっての望ましいスポーツ環境がどこにあるか探っていくというのが入り口としてある。あまりにも部活動で週末を使いすぎてしまったり、放課後ずっと部活動をしていたところを、他の選択肢もあるのではないか。例えば休みとして使うのか、他の活動で使うのか、他の競技に使うのかなど、子どもたちが地域の中で関わり合いながら、新しい地域スポーツとしての関わりを目指していく。この資料だけでは分からない部分もあると思うが、大石田町の中で今から育っていく子どもたちが、スポーツを通してより成長していくことができるのか、何がベストなのかを考えていただければと思っている。
教育長	今のことを踏まえて質問意見は。
委員	民間移行、地域移行ということだが、これは行政が一切手を引いて、完全に民間に移行するということなのか。もう一つ、スポ少などを想定しているようだが、大都市であれば規模も大きい、団員も多いから少額の負担でやっていけるが、大石田のような小規模だと1,000円2,000円の負担ではあわない（足りない）。大石田は現在8つの運動部があるが、サッカーなどはやりの運動部がない。そういった新しい競技の誘致など全部民間でやるということなのか。お金が伴わなければ民間では難しい。
教育長	今の質問に関連して何かないか。なければ県より。
オブザーバー	答えられる範囲でとなるが、まず1点目地域移行後は全て民間にお任せするのかということ、義務教育の中で行われている現在の部活動は時間的な拘束などから教員が関わらざるを得ない、その部活動のあり方自体を考え直していきましょうというのが部活動改革のイメージ。資料を見ると土日の部活動は全部民間にお任せするというふうに見えるが、そうではなく、今は土日も部活動をするのが当たり前になっているが、土日の時間の使い方として、例えば野球部であれば平日野球をやって、土日も野球をしているが、土日はプロを目指すならそういうところで指導を受ける、そうでないなら地域の方から指導を受ける、あるいは野球以外の競技に触れる、あるいは必ずなにかに入らなければならないということではなくなってくる。つまり、民間にいきなり全て願いますということではなく、子どもたちへ選択肢をあげるという考え方でいいのかと思う。 大きい市とそうでないところの差という話があったが、県の検討委員会でも話になっている。会議の中では山形市と小国町であったが、同じように

	<p>は進められないだろうと。だからこそ県でロードマップを準備するのは難しいので、イメージとして、目標を達成するためにそれぞれの市町村で検討していただきたいというのが、このような準備委員会での役割だと県では考えている。</p>
教育長	<p>よい切り口の質問をいただいた。</p> <p>例えば大石田では野球部、柔道部、剣道部がある。これらは部活動であると同時にスポ少でもあり、教員が出ないで、スポ少の指導者が指導することも可能である。教員は兼職して指導することもできる。そんなかたちで学校から離れても、子どもたちが活動できる場所を確保していきたい。そんなふうにとらえていただければありがたい。</p> <p>そのときに、これまでも指導謝礼など渡していたと思うが、これもかかってくるし、もっと経費は出てくるかもしれない。それらを拾い上げていって、どうやったら子どもたちが活動することができるのか、というふうになるのではないか。</p> <p>委員は剣道スポ少でもあるわけだが、地域移行になるとなったらスポ少で受け入れられるか。</p>
委員	<p>剣道だけの話をすると、私も勤めに出ているのでできる限りの配慮はするが、土日必ずというのはなかなか難しい。また平日の活動についても、部活動ということで16時～18時を想定しているのかと思うが、その時間はまだ勤務をしている時間であり、そうすると活動は夜間にせざるを得ず、保護者の送迎の負担などがある。また、土日の活動、特に大会などをなぜ土日にするのかといったら大会役員などが土日しか出来ないからといった事情があるのかと思う。これらのことから、受け入れることは可能かと思うが、100%要望に添った形にはできない。</p>
教育長	<p>柔道から委員はどうか。</p>
委員	<p>土日とひとくくりにされているが、現在でも土日のどちらかは休みにすることとされている。板垣先生とも話をしたことがあるが、地域移行となれば土日どちらかでスポ少が受け入れることになるのではないかという話をしている。</p> <p>月～金は部活動に参加しても、土日は参加しない、特に集団競技ではレギュラーだけど土日の大会ではない、などということが起こりうる。これまで日本では競技力の向上を全て部活動に頼ってきた経緯がある。国ではヨーロッパのような放課後は完全に自由として、例えばピアノが習いたいとなれば保護者と生徒がお金を払ってそれを習いに行く、やりたくない、経済的に厳しい人はやらなくていいというように最終的にはなっていく</p>

	<p>のではないか。</p> <p>話がそれだが、柔道では土日のどちらかということであれば受入れ可能だと考えるが、任意加入になれば入らない子も出てくることを懸念している。</p>
教育長	<p>任意加入になるのではという話が出た。現在の部活動は全員加入だが、いずれ任意加入になっていくのだろう。現在の先生方の考えはどうか。</p>
委員	<p>部活動一生懸命やりたいという先生もいる。できるならば外してほしいという先生もいる。無理です、土日は出られませんという人もいる。なるべく2人顧問制として、もう一人の方が土日を見るような状況がある。この部活動改革で、教員は土日出ないでくださいと今年度末には伝えなければならない。だがこれまで通り土日も指導したいという人も出てくるだろうが、このフォローをどうしていくか。もっといえば、身分保障をどうしていくか。現在教員は部活動指導に手当をいただいている。4号業務とって、土日に3時間まで部活動をしていいことになっている。時給は900円、ほぼ最低賃金だ。お金なんかいいから指導をしたいんだという人もいるが、みんなにそれを押しつけるわけにはいかないから議論をしていく必要があるということはある。誰が財源を担うのかということだが、私のイメージはスイミングだ。月謝を頂いて、そこから報酬を得るのが最も単純でよいのではないか。</p> <p>私の同級生である競技の指導者をしている人がいる。早期退職し、クラブを立ち上げ、そのクラブで指導者をしている。月謝をいただいて活動しているということだが、非常に安く、交通費程度の金額とのことだ。いふなればその人の情熱で活動できている。地域移行の話があった際、地域の人からその競技の指導を引き受けてくれないかという打診があったと聞いている。</p>
教育長	<p>中学校の先生方の意見について理解いただけたのではないかと思います。校長先生は中体連の会長もしている。中体連は部活動の中核である。中体連がどうなるのか。</p> <p>県の方に確認だが、令和5～7年は段階的な移行ということで間違いないか。令和8年度から完全移行という理解でよいか。</p>
オブザーバー	<p>5～7年度は移行期間ではあるが、県としては令和5年度から土日は部活動は原則行わない方針。その上で市町の現状があるので、いきなりなくなりますということではない。</p>
委員	<p>今の話だと、来年度から中学校は土日の部活動はしないということか。</p>
オブザーバー	<p>原則、土日に部活動という形での活動はしないということ。</p>

委員	その上で来年度から地域に移せる部活は移していくということか。
オブザーバー	県やスポーツ庁としては、今ある部活動をそのまま移行するというわけではなく、生徒の土日の活動の受け皿を作ってほしいということ。
委員	今ある部活動についてはスポーツクラブやスポ少で受け入れていくことになるのだろうが、これまでのスポ少の活動を見ていると活動時間は夜間が多い。これまで部活動として放課後の時間帯にしていたものを、夜間にしても問題ないのか。
オブザーバー	まったく問題ない。平日野球部の子どもたちが、土日も部活をやりたいというなら、スポ少なりで活動することを子どもたちが選ぶことができる環境を作ってほしい。
教育長	私も今認識を新たにしたところだが、令和5年から教員は土日の活動に参加しないということのようだ。する場合は兼職願いを出してやるということ。 平日に関してはどうなのか。平日も部活動はやりませんというのは学校判断でできるのか。段階的に移行するとうことだが、その選択も地域に任せるということでいいのか。
オブザーバー	国ではいずれ平日も地域移行をとという方針を持っているのは間違いないが、県としては、子どもたちの人数は都市部と山形県ではまったく違うので、いきなり子どもたちの活動の場がなくなってしまうようなことは考えていない。平日の部活動はこれまで通り存続し、令和8年度以降に検討していく。
委員	もしスポーツ協会の各団体が受入れ先となることがあれば、取り組んでいただけたらと思うが、平日の部活動にも学校の方針があり、土日だけ活動方針が違うようなことはあってはならない。もし移行するなら、学校の方針も理解し、それに沿った指導ができるような方を指導者に御願いしなければならぬと考える。
教育長	先ほどあったとおり、平日は教員が指導する。スポ少に入っていれば外部の指導者もはいる。土日は教員は原則参加しない。 土日に関しては野球、剣道、柔道ができるが、(町内で)できないものはやらない。そういう子どもたちはどうなるのか。 あるいは平日野球をやっている、土日は違う活動ができる。そういうことが可能になる。そんなイメージ。
委員	先ほどの県の方の話だと、土日は中学校の部活動はしない。そうなる、いま部活動と同じ種目のスポ少などがある部活はそのまま移行できるが、存在しない種目はどうするのか。考えをお聞きしたい。

オブザーバー	<p>県としては、地域で受入れ団体がない種目に関して、地域ごとに事情が違うため一律のロードマップはない。例えば兼職で現在の顧問が地域で指導してくださるのか、あるいは他の市町の活動に参加するというのも、子どもたちの機会という点では経験になるだろうし、あるいは総合型スポーツクラブでその種目を増やすということもある。様々な選択肢がある中で、大石田町としてどれが一番よいのかということをおこなうような会議の場でお出しただけであればいいのかなと考えている。</p>
教育長	<p>委員の質問は非常によい質問で、子どもたちがやりたいことを全て町で用意できるのかという問題がある。広域化という選択肢も出てくるし、民間的なところに行ってもらおうということもあり得る。これらが来年からすぐできるかという、ちょっと難しいのではないかと。これらについて、今日意見交換は難しいと思うので、本日は共通理解を得る場と考えていただきたい。</p>
委員	<p>校長として、大きな懸案事項になっているのは、イメージ図にもある「任意加入制」という部分だ。近隣の市町村で東根市の5つの中学校全ては令和5年から一斉に任意加入制にすると決めたようだ。大石田は全校生でも来年度で135名、規模としても活動数からしても、任意加入制にするのは早期かと考えている。任意加入制についてどう考えていったらいいのか、地域の皆さんの意見をお伺いしたい。</p>
委員	<p>保護者としてだが、任意加入制になると、子どもたちはやりたいことがたくさんあるので部活動としては成立しなくなると思う。保護者にも温度差があり、大会目指して一生懸命な保護者もいれば、家庭環境が整ってなく、なんとか部活に行かせている保護者もいる。そういったことを含めて、町としてどういった受け皿があるか、ということだと思う。スポーツ面でも各組織でできる限度があるし、文化面も必要だと思う。絵が描きたい、習字が書きたい、俳句を詠みたい、いろいろなお子さんがいる。そういったお子さんに対しても町がビジョンを示せたら。町としても一町民一スポーツ一芸術という素晴らしい目標がある。これに照らし合わせて子どもたちを育てて行けばよいと思う。各協会は後継者不足で、特に芸術系はお子さんが参加していないので、今後どうやってつないでいったらよいのかという問題がある中で、大人と子どもと一緒に活動する場を作れば、お年寄りも元気になるし、子どもたちも活気づくのではないかと。</p>
教育長	<p>任意加入になったらどうなるのかという校長先生からの話があった。事務局としても土日部活しませんとなっても、すぐ対応するのは難しい。全ての部活動を受入れしていただくというのは無理だ。だからこういう会議を</p>

	<p>開いてみなさんの力をお借りしたい。皆さんに意見をお聞きし、空気を醸成し、グランドデザインを描いていかなければならない。</p> <p>大きな部分では、全体を取り囲むのがスポーツクラブである、その中にスポーツ協会があってもいいんじゃないか。そこにスポーツ少年団も入る。すると大人も子どももいるスポーツクラブができる。例えば中体連の大会にいくなら、そこから中学生の会員が行く。そんなイメージの組織ができればよいが、そう簡単にはできないだろう。将来的に任意加入になればそうなるのかな、というイメージ。</p> <p>皆さんには各団体でこのことについてお話してもらい、次回までに持ち寄っていただけたらと考えている。</p> <p>確認だが、来年度も今年と同じ数の部活があるということによいか。</p>
委員	<p>平日はそうだ。</p> <p>個人的にはクロストレーニングの考え方をとりれてもらいたい。例えば柔道をしている人は、土日も必ず柔道をしなければならないのかということそんなことはないと思う。例えば土日は陸上に交じってランニングを中心にやるとか、たまには他の種目をやってみるというのも、中学生の時期の基礎・基本を作る上で大事なことはないか。</p> <p>個人的な見解だが、スポーツをするなら走る・跳ぶ・投げるは基本だと考えている。陸上を主としたアスリートクラブのようなものを準備してあげて、必ずしも柔道をしなさい、剣道をしなさいということじゃなくてもよいのではないか。冬は大場先生とクロスカントリースキーをやるなどよいのではないか。</p> <p>もう一つ、明日1年生の新生保護者説明会がありそこで部活動にも触れるのだが、部活動は地域移行の段階で、様々なことを検討中であるというような説明でよろしいか確認したい。</p>
教育長	<p>土日は教員は参加しないということは言ってよいのではないか。</p>
委員	<p>教員が参加しないというわけではなく、顧問という立場ではなく、登録した指導員として指導に当たることはあるということ。</p>
教育長	<p>原則として教員は参加しないが、希望すればそういった形で参加することはあり得るということ、それは説明してよいのではないか。</p>
委員	<p>根本的に部活動というのはどんな形を目指すのかということを理解していないと進め方は難しいのかなと感じている。現状の部活動はどちらかというと中体連の大会を目指すのがメインになってきているが、今金村校長先生からあったとおり、大会だけではなく、身体作りであったり、文化面を育てたりといったところと融合していかなければならない。そこをどう</p>

	<p>うまく考えていくのか、やはりスポーツクラブが取り組んでいくのか。</p> <p>また、今あったようなことをどうやって保護者に下ろしていくのか。土日はやりませんとなれば、なぜ一方の部活は大会を目指して、一方の部活は目指さないのかなどの不満は必ず出てくる。まずはそれが出てこないようにするのが当面やるべきことではないか。</p> <p>アンケートだが、中学生のアンケートをみると学校外でやってみたい活動を見ると、バドミントン、バスケ、ダンス、美術、パソコンなどが人数多いようだ。子どもたちはいろんな活動をやりたいと思っている。大会を目指したい子は大会を目指す、いろんな活動がしたい子はいろんな活動をするというのが本来の形なのかなと思う。そういうことを保護者にどう理解してもらうか、というのがこれからの課題。</p>
教育長	それがあと4ヶ月しかない来年度に可能なのかという問題がある。
委員	委員にお聞きしたいのだが、あったとおり、保護者の理解を得るには中体連の大会がどうなっていくのかというのが重要。今まで通りの大会であれば、土日に集まって練習試合をしたり、強化練習をしたりする必要があり、保護者の理解は得られない。これからどうなっていくのかをお聞きしたい。
委員	今の段階でスポーツ庁および日本中体連で示している方向性として、全国大会は残る見込み。ただしスポーツ庁から、これまでは学校体育の延長であるという考え方から、原則学校単位での参加だったが、クラブチームも参加可能となるよう規約を改正しなさいという話が出ているようだ。合同部活動にしないと成り立たない学校がたくさんある中で、クラブチームでの参加も増えるのではないかと予想される。令和5年度からクラブチームの参加も可能にしなさいというアナウンスはマスコミ等にも出ているかと思うが、これを受けて例えばバスケットボールがやりたいという生徒がいて、大石田ではやっていない、尾花沢にはクラブチームがある、じゃあそちらのスポ少に参加するから部活動は参加している扱いとしてほしいという事例も出てくるのかなと考えている。より一層選択肢が広くなり、それを止めることは学校では難しいのかなと思う。
委員	将来的には分かるが、当面北村山や県の動きはどうなのか。
委員	まだわからない。
委員	そちらがすすめば、保護者への対応も進むのではないかと思う。
教育長	町としてもそういうことだから来年からの対応は難しいと考えている。だが土日に部活動はなくなりますということは保護者に伝えなくてはならない。一部の種目はスポーツ協会、スポ少、スポーツクラブで受入れ可能

	なのではないかと考えている。
委員	大会の引率なども教員は関わらないということか。練習試合などは。
委員	まだ決まっていない。練習試合は学校の部活動という形では組めなくなるのではないか。
委員	<p>土日の活動には教員としては関わらないということだが、移行期ということで、受入れ団体が無い部活動もある。そこだけは今まで通り顧問の先生が指導してもらうわけにはいかないのか。</p> <p>もう一つ、スポーツ面の話ばかりだったが、文化面でも吹奏楽部では東北大会に行くような熱心な先生が指導している。個人的にいろんな大会やコンクールを見に行っているが、土日にプロの指導を頼んでいる学校だと、生徒から集めたお金で先ほど教員に支払っていると聞いた手当の数倍の金額を支払っていた。そういう点からもこれまでと同じ指導というのは難しいのかなと感じた。</p>
教育長	なかなかイメージがつかめないと思う。県ではやれるところからしてくださいというが、私が先ほど土日の教員の指導について確認したのもそのような点があったからだ。土日に教員にこれまで通りの指導を頼んではいけないのか。兼職願いを出し、これまで通り指導してもらうことは問題あるのか。
オブザーバー	<p>来年度から部活動という名目での活動はやらないとなっているが、移行期に関して、例えばこれは県が推し進めているわけではないので、事例として紹介すると、鶴岡市ではパターンを5つ考えている。</p> <p>1つが総合型スポーツクラブに受け皿となっていて、競技の大会に出るとなった場合、土日はスポーツクラブで活動し、大会には学校単位で出る。</p> <p>2つめは、スポーツ少年団に所属して土日活動して大会に出る。</p> <p>3つめ、ここから移行期として大きいところかなと思うが、保護者会としてクラブの受け皿になり、土日は兼職の先生を受け入れて大会に参加する。</p> <p>4つめが民間に全て御願いで、競技力を向上する。</p> <p>5つめが合同部活動というかたちで競技をしているところへ行かせる。</p> <p>正直、中体連というのが部活動のゴールではない、認識を変えていただかなければならないが、時間がかかると思うので、鶴岡市ではそのようにしているというだけ。大石田町として、子どもたちの不利益にならない形がどのようなものかお考えいただきたい。</p>
教育長	次回までにアンケートなどに目を通していただき、年明けにまた会議を持

	<p>たせていただきたい。そこでは事務局案としてある程度示せるようにしたいと思う。今回は共通理解を持っていただいたということでよろしいか。いくつかのキーワードが示されたと思う。一つは「任意加入」、一つは「指導者」、一つは「スポーツクラブのあり方」、「総合型スポーツクラブ、スポーツ協会、スポーツ推進員の関わり」、これらの方も私たちはこういうことができるよ、というイメージを持ってきていただけると話がしやすくなるのではないかと感じた。保護者の方にも、土日部活動がなくなるよとなったときに、子どもたちはどんなことを望んでいるのか、保護者の意見を聞いてきていただきたい。小学校の先生方には先生の話の踏まえて、中学校へ送り出すにあたって、こんな活動になればいいなというのをお聞きしたい。</p> <p>他に何か言っておきたいことなどあるか。</p>
委員	<p>中学校の教員は当事者でもあるので、高い興味関心を持っている。今日の会議資料を教員に配付してよいか。</p>
事務局	<p>アンケート等は後日保護者にも配布予定なので問題ない。ロードマップは事務局のアイデア段階であるので配布は避けていただきたい。</p>
教育長	<p>年明けにはもっと踏み込んだ部分の内容も議論できるのかと思う。時間のない中での取り組みとなるがよろしく御願います。</p>
事務局	<p>委員のみなさまには団体に持ち帰っていただき、役員会などがあれば、議題にさせていただいて広く意見をいただければと思う。本日は多くの意見をいただき、深く感謝する。</p> <p>以上で第1回部活動地域移行準備委員会を閉会する。ありがとうございました。</p>